



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池上幸一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 西川憲一

TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,819	△0.5	193	40.4	193	45.5	184	136.9
24年3月期第1四半期	1,829	1.6	138	△27.2	132	△32.3	77	△29.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 251百万円 (160.8%) 24年3月期第1四半期 96百万円 (△9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	27.81	—
24年3月期第1四半期	11.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,232	11,053	83.4
24年3月期	12,988	10,935	84.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,035百万円 24年3月期 10,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当20円 記念配当20円(創立60周年)

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,650	1.8	260	△4.1	270	△3.6	175	1.6	26.39
通期	7,300	5.0	645	10.0	705	8.4	455	16.7	68.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	6,992,000 株	24年3月期	6,992,000 株
25年3月期1Q	361,515 株	24年3月期	361,515 株
25年3月期1Q	6,630,485 株	24年3月期1Q	6,631,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需主導で緩やかな回復はしているものの、長引く円高や原材料価格の高騰、さらに夏場の電力不足もあり、製造業にとっては厳しい状況が続いております。また、欧州の債務危機や米国の景気回復の遅れ、さらに中国やインドの新興国の成長の鈍化などで世界経済は先行きの不透明感を拭えない状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの主力分野でありますプリント配線板業界は、パソコンや薄型テレビの需要低迷などの影響を受け、国内外ともに厳しい状況が続いております。また、もう一方の主力分野であります合繊織物業界は、好調を維持しておりました細番手を中心とした高機能性織物が在庫調整に入り、国内外ともに業界全体の仕事量が急激に減少してまいりました。

その中で当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間から組織を新たにし、各分野において高機能・高付加価値の製品開発をスピーディーに行い、売上高と利益の確保に努力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,819百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は193百万円（同40.4%増）、経常利益は193百万円（同45.5%増）、四半期純利益は184百万円（同136.9%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (反応系製品)

反応系製品の中で、繊維関係につきましては、好調を維持しておりました細番手を中心とした高機能性織物の急激な落ち込みにより国内外ともに大幅な売上高の減少となりました。

しかし、化粧品関係におきまして、シャンプー・コンディショナー分野で積極的な営業展開と、ヘアスタイリング剤の新規製品の開発により売上高と利益を伸ばすことができました。

また、製紙・印刷関係につきましては、ダイレクトメール用UV圧着ニス为好調に推移しております。

その他、自動車関連用樹脂や水溶性ポリエステル樹脂など環境に関する分野におきまして積極的に営業活動を展開してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は1,493百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益276百万円（同29.1%増）となりました。

#### (混合系製品)

混合系製品は、自動車関連が回復基調にあるものの、家電製品の販売不振によりプリント配線板用インクは厳しい内容となりました。しかし、スマートフォンやLED、タッチパネルの用途を中心とした高付加価値インクの開発と販売に注力し、売上高と利益の確保に努力してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は325百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益24百万円（同89.3%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,232百万円と前連結会計年度末に比べ、244百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ163百万円増加し8,842百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が100百万円増加したことや原材料及び貯蔵品が14百万円増加、仕掛品が14百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ81百万円増加し4,390百万円となりました。これは、有形固定資産が77百万円減少しましたが、無形固定資産が51百万円増加したことや繰延税金資産が100百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ119百万円増加し1,681百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が103百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し497百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ118百万円増加し11,053百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が26百万円減少したものの、利益剰余金が51百万円増加したことや為替換算調整勘定が92百万円増加したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から8百万円増加し、当第1四半期連結累計期間末には1,653百万円となりました。各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は152百万円(前年同期比1,447.7%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益193百万円(同51.7%増)に対し、売上債権の増加額91百万円(同12.6%増)及びたな卸資産の増加額38百万円(同72.6%減)並びに法人税等の支払額89百万円(同43.5%減)等の資金減少要因があったものの、減価償却費48百万円(同12.0%減)及び仕入債務の増加額100百万円(同52.9%減)等の資金増加要因があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は30百万円(同91.9%減)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出31百万円(同55.6%減)や有形固定資産の売却による収入2百万円(前年同期は-)等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は117百万円(同0.1%減)となりました。これは、配当金の支払額117百万円(同0.1%減)によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

なお、同日付で開示しております「関係会社株式の一部売却に関するお知らせ」に記載しておりますとおり、株式の売却価額が確定次第、業績予想の見直しをお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,401,135	5,409,443
受取手形及び売掛金	1,975,053	2,075,738
商品及び製品	510,190	524,077
仕掛品	251,203	265,498
原材料及び貯蔵品	454,219	469,152
繰延税金資産	60,985	57,412
その他	26,318	42,421
貸倒引当金	△265	△1,401
流動資産合計	8,678,842	8,842,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,727,244	3,735,145
減価償却累計額	△2,840,405	△2,859,872
建物及び構築物(純額)	886,838	875,272
機械装置及び運搬具	5,830,908	5,851,063
減価償却累計額	△5,490,149	△5,523,981
機械装置及び運搬具(純額)	340,759	327,081
工具、器具及び備品	866,293	871,660
減価償却累計額	△835,710	△839,936
工具、器具及び備品(純額)	30,582	31,724
土地	2,097,295	2,097,295
建設仮勘定	54,430	1,406
有形固定資産合計	3,409,906	3,332,780
無形固定資産		
のれん	373	310
その他	50,098	101,536
無形固定資産合計	50,471	101,847
投資その他の資産		
投資有価証券	803,715	810,472
従業員に対する長期貸付金	1,194	1,152
繰延税金資産	32,150	132,379
その他	22,280	22,207
貸倒引当金	△10,280	△10,371
投資その他の資産合計	849,060	955,840
固定資産合計	4,309,439	4,390,469
資産合計	12,988,281	13,232,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,153,099	1,256,630
未払金	131,942	142,445
未払費用	11,734	2,340
未払法人税等	93,785	64,179
賞与引当金	114,884	109,748
役員賞与引当金	14,500	5,125
その他	42,796	101,438
流動負債合計	1,562,743	1,681,908
固定負債		
退職給付引当金	354,079	357,751
役員退職慰労引当金	136,060	139,274
固定負債合計	490,140	497,026
負債合計	2,052,883	2,178,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	9,737,380	9,789,173
自己株式	△268,988	△268,988
株主資本合計	11,138,382	11,190,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,523	34,885
為替換算調整勘定	△281,649	△189,554
その他の包括利益累計額合計	△220,126	△154,668
少数株主持分	17,141	18,370
純資産合計	10,935,397	11,053,877
負債純資産合計	12,988,281	13,232,812

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,829,002	1,819,426
売上原価	1,248,830	1,165,166
売上総利益	580,172	654,260
販売費及び一般管理費	442,016	460,281
営業利益	138,155	193,979
営業外収益		
受取利息	2,174	2,196
受取配当金	1,831	1,928
持分法による投資利益	—	1,976
貸倒引当金戻入額	127	—
受取ロイヤリティー	—	1,235
雑収入	2,365	2,226
営業外収益合計	6,498	9,563
営業外費用		
売上割引	1,747	1,583
持分法による投資損失	1,024	—
為替差損	5,986	8,555
その他	3,227	324
営業外費用合計	11,985	10,463
経常利益	132,668	193,079
特別利益		
固定資産売却益	—	1,999
特別利益合計	—	1,999
特別損失		
固定資産除却損	—	0
持分変動損失	5,107	1,528
特別損失合計	5,107	1,528
税金等調整前四半期純利益	127,560	193,550
法人税、住民税及び事業税	34,604	61,501
法人税等調整額	14,799	△52,621
法人税等合計	49,404	8,879
少数株主損益調整前四半期純利益	78,156	184,671
少数株主利益	332	268
四半期純利益	77,823	184,403
少数株主利益	332	268
少数株主損益調整前四半期純利益	78,156	184,671



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	541	△26,637
為替換算調整勘定	6,328	17,475
持分法適用会社に対する持分相当額	11,268	75,580
その他の包括利益合計	18,138	66,418
四半期包括利益	96,294	251,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,613	249,860
少数株主に係る四半期包括利益	680	1,229

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	127,560	193,550
減価償却費	55,439	48,802
のれん償却額	62	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△121	1,089
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△219	△5,136
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,500	△9,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△183	3,376
受取利息及び受取配当金	△4,005	△4,125
為替差損益 (△は益)	2	441
持分法による投資損益 (△は益)	1,024	△1,976
持分変動損益 (△は益)	5,107	1,528
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,999
有形固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△81,449	△91,719
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△138,899	△38,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	214,458	100,939
未払金の増減額 (△は減少)	△4,393	2,814
その他	4,220	37,919
小計	164,103	238,170
利息及び配当金の受取額	4,972	4,561
法人税等の支払額	△159,203	△89,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,872	152,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△71,003	△31,515
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
投資有価証券の取得による支出	△1,212	△1,233
定期預金の預入による支出	△1,216,010	△1,415,726
定期預金の払戻による収入	916,430	1,416,303
貸付金の回収による収入	97	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371,699	△30,130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△117,347	△117,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,347	△117,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,153	3,489
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△477,020	8,885
現金及び現金同等物の期首残高	1,880,581	1,644,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,403,560	1,653,717

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,493,219	335,783	1,829,002	—	1,829,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,128	—	16,128	△16,128	—
計	1,509,348	335,783	1,845,131	△16,128	1,829,002
セグメント利益	213,823	12,701	226,524	△88,369	138,155

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,369千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,493,679	325,747	1,819,426	—	1,819,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,924	—	10,924	△10,924	—
計	1,504,603	325,747	1,830,351	△10,924	1,819,426
セグメント利益	276,126	24,043	300,170	△106,190	193,979

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,190千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。